

好學当武

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R 8 . 6 . 1 5

発行ナンバー 1 2 7 6 号

練習試合の結果

1 3 日 (土) 対朝霞西高校
第 1 試合 1 0 対 1 勝利
第 2 試合 途中まで

1 4 日 (日) 対甲府東高校
第 1 試合 1 5 対 4 勝利
第 2 試合 途中まで

通算結果 2 4 勝 1 1 敗 4 分

ファンあってこそ

今シーズンのプロ野球 (主にセ・リーグ) に関して、私の中でその接し方に明らかな変化が生じてしまっています。実は・・あまり観なくなってしまうのです。

要因はいくつかあります。

まず、不祥事・・人として守らなければならないルールを守れていない、そんな人がしている野球をなんとなく観る気にならない・・

また (今年、特に強く感じるんですが) 何が何でも必死に・・みたいな部分が足りないように見えるのです (私の愛する阪神、先に点をとられると、まったく反撃せずにそのままあっさり敗退することが多いです)。技術レベルはまったく違いますが、高校野球の方が、終盤までお互いが粘りを見せる試合が展開されていますし、実際、最後の1球まで勝敗が分からない試合が多いと思います。そして一番感じているのはコレ (野球人として言うてはいけないセリフなのかも知れませんが)、果たしてこの野球が日本で最高峰の (一番レベルの高い) リーグ戦なのか・・そんな風に思わせるプレーが多いように感じるので。

プロなので、(サッカーJリーグのように1部と2部に分けて) 結果の出ないチームは下に落ちる・・そんな風にすればよいのではないかと思います (現在行われている交流戦の結果を見れば、セ・パに差があるのはハッキリしている。セ・リーグ優勝の価値?)

高校野球も同じではないでしょうか。アマチュアなので技術的な面は別ですが、不祥事が多かったり全力プレーが欠如したりしていると、あっという間に観ていただく方を失っていくと思います。

一生懸命の積み重ね、忘れずに。

体験入部 (申し込み始まる)

夏季休業中の体験入部申し込みがスタートしました (詳しくは市高ホームページをご覧ください)。

その初日、ホームページ担当の先生から嬉しい話がありました。野球部 (に限らずだと思いますが) 体験入部希望者がその申し込み開始時刻、一斉に申し込みをしてきてくれたそうなのです。市高への想いが強い (=間違いなく愛校心につながる) 子供達と野球がしたい、(私自身の母校でもあるので) 強くそう思います。

説明会・体験入部共に上限の人数が設定されています。興味ある方はなるべく早めに申込みをしていただくようお願い致します (担当の教員から、野球部の1回目 (7月24日 (金)) は定員に達し、締め切ったと連絡がありました)。

なお、他競技と違い、高校野球連盟独自のルールで、その学校の体験入部に参加できるのは1回だけという決まりがあります。(野球部に関しては) 体験入部への参加は1回のみということをお願いします。